

アクセラレーション・ジャパン2023-05 (限定追加型・早期償還条項付)



ファンド設定のご挨拶

今般、「アクセラレーション・ジャパン2023-05（限定追加型・早期償還条項付）」（以下、当ファンド）をご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。当ファンドは2023年5月15日に設定され、運用を開始しました。

- 運用開始に伴い、グローバルで競争力を有するコンテンツIP*1の保有もしくは活用により、今後の成長が見込まれる銘柄を順次選定し、ポートフォリオを構築しています。5月19日現在、当ファンドの株式組入比率は92.4%*2となり、35銘柄を組み入れています。
- 銘柄選定では、投資家の皆さまに馴染みのある、コンテンツIP業界をリードする大型銘柄に加えて、以下の点にも着目した銘柄を組み入れています。(1) 新形態のIP創出、(2) 新領域でのIP展開や支援、(3) 休眠IPの再活性化です。



上原 正弘
(当ファンドのファンドマネージャー)

- 日本のコンテンツ関連産業の特徴の一つとしてIPの先進性があり、「新形態のIP創出」に着目しています。VTuber*3という新形態のIPを保有し、VTuber事務所の運営などで成長が期待されるカバーやANYCOLORを組み入れています。

「新領域でのIP展開や支援」では、メタバース*4等の新領域でのIP展開等による成長の可能性に着目しています。この観点では、アーティストのファンクラブサービスと連動したメタバースに取り組むエムアップホールディングス等を組み入れています。

「休眠IPの再活性化」ではゲーム会社に着目しています。効率的な開発と成長を追求する一環として、開発要員を増員するなどして、一定期間新作が発売されていないゲームIP（いわゆる休眠IP）の再活性化にも力を入れているカプコンやセガサミーホールディングス等を組み入れています。

着目点	組入銘柄例	関連する事業等
新形態のIP創出	カバー、ANYCOLOR	VTuber事務所の運営
新領域でのIP展開や支援	エムアップホールディングス 等	ファンクラブサービスと連動したメタバースの開発等
休眠IPの再活性化	カプコン、セガサミーホールディングス 等	一定期間新作が発売されていないゲームIPの再活性化

*1 IP (Intellectual Property) とは知的財産のことです。

*2 組入比率は、当ファンドの純資産総額を100%として計算。

*3 現実の人の動きをデジタルデータにする技術を用いて、アニメルックアバター（キャラクター像）で活動する仮想上のエンターテイナー。

*4 インターネット上に構成される3次元の世界やそのサービスをいいます。

(出所) 各種資料

※上記は当資料作成時点での当ファンドの組入銘柄であり、当ファンドにおいて当該銘柄を今後も保有するとは限りません。また、当該銘柄を推奨するものではありません。

※上記は過去の実績および当資料作成時点の見通しならびに運用方針であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。今後、予告なく変更する場合があります。

(ご参考) 組入上位20銘柄 (2023年5月19日現在)

※下記の組入上位20銘柄は5月19日現在のものであり、今後、銘柄の組入れが進んだ場合、組入比率や組入比率順位が変動する場合があります。

順位	銘柄	企業分類	企業概要等	組入比率 (%)	時価総額 (億円)
1	バンダイナムコホールディングス	IP活用	アニメ制作、ゲーム開発、商品化等の事業を展開。	8.0	22,564
2	ソニーグループ	IP保有	ゲーム、アニメ、音楽、映画などで多数のIPを保有。	7.8	171,381
3	カプコン	IP保有	世界で認知度の高い「バイオハザード」、「ストリートファイター」などのゲームを開発。	7.0	14,898
4	セガサミーホールディングス	IP保有	「ソニック」、「ぷよぷよ」などのゲームシリーズを開発。	6.7	6,668
5	サンリオ	IP保有	人気キャラクター「ハローキティ」、「マイメロディ」などを創出。	6.6	5,522
6	任天堂	IP保有	「マリオ」、「ポケモン」などの世界で認知度の高いキャラクター等の権利を保有。	5.7	77,623
7	オリエンタルランド	IP活用	米ディズニーと業務提携し、国内で唯一、ディズニーキャラクターを用いたテーマパークを運営。	5.0	97,760
8	コナミグループ	IP保有	「メタルギア」、「パワフルプロ野球」シリーズ等のゲームを開発。	4.2	11,035
9	円谷フィールズホールディングス	IP保有	「ウルトラマン」等のIPを保有。海外を中心に、IPのライセンス収入が拡大。	4.1	1,736
10	スクウェア・エニックス・ホールディングス	IP保有	「ファイナルファンタジー」や「ドラゴンクエスト」シリーズ等のゲームを開発。	3.9	8,540
11	ネクソン	IP保有	「アラド戦記」、「メイプルストーリー」等のゲームを開発。	3.2	26,616
12	東映アニメーション	IP活用	人気の他社IP「ワンピース」や「ドラゴンボール」などのアニメ製作等の権利許諾を得て、活用。	3.0	6,006
13	KADOKAWA	IP保有	出版事業から新規自社IPを創出し、多くのメディアで展開。	2.9	4,665
14	東宝	IP活用	映画の製作、配給、興行等を展開。	2.5	10,761
15	カバー	IP保有	VTuber事務所を運営。所属VTuberのIPを保有。	2.3	1,274
16	ANYCOLOR	IP保有	VTuber事務所を運営。所属VTuberのIPを保有。	2.2	1,811
17	SANKYO	IP活用	他社IPを活用し、遊技機関連事業を展開。	2.1	3,980
18	コーエーテクモホールディングス	IP保有	「信長の野望」、「三國志」シリーズ等のゲームを開発。	1.9	8,345
19	SHIFT	IP活用	ゲーム開発の品質保証サービス等を提供。	1.5	4,490
20	Zホールディングス	IP活用	傘下に、スタンプや音楽等を扱うSNSを運営するLINE等を持つ。	1.5	27,542

(注1) 企業分類は委託会社による分類。企業分類のうち、IP保有はコンテンツIP保有企業、IP活用はコンテンツIP活用企業をいいます。

(注2) 組入比率は、当ファンドの純資産総額を100%として計算。時価総額は2023年5月19日現在。

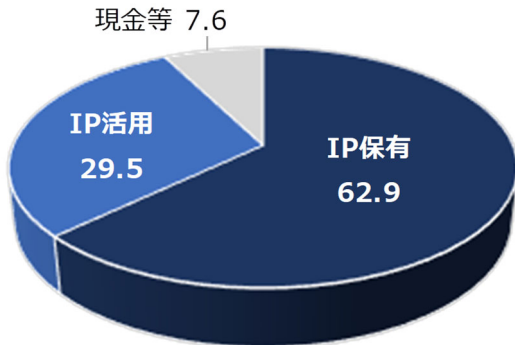
(出所) Bloomberg、各種資料

※上記は当資料作成時点での当ファンドの組入銘柄であり、当ファンドにおいて当該銘柄を今後も保有するとは限りません。また、当該銘柄を推奨するものではありません。

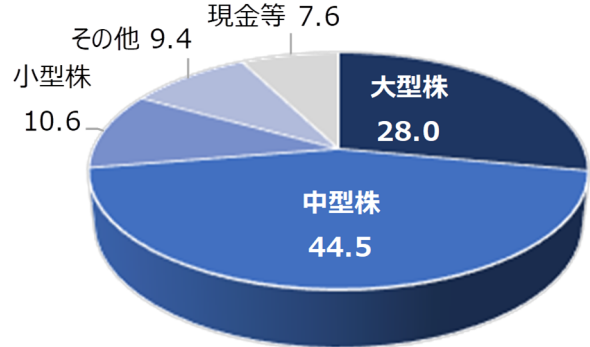
※上記は過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

ポートフォリオの概況（2023年5月19日現在）

企業分類別構成比率（%）



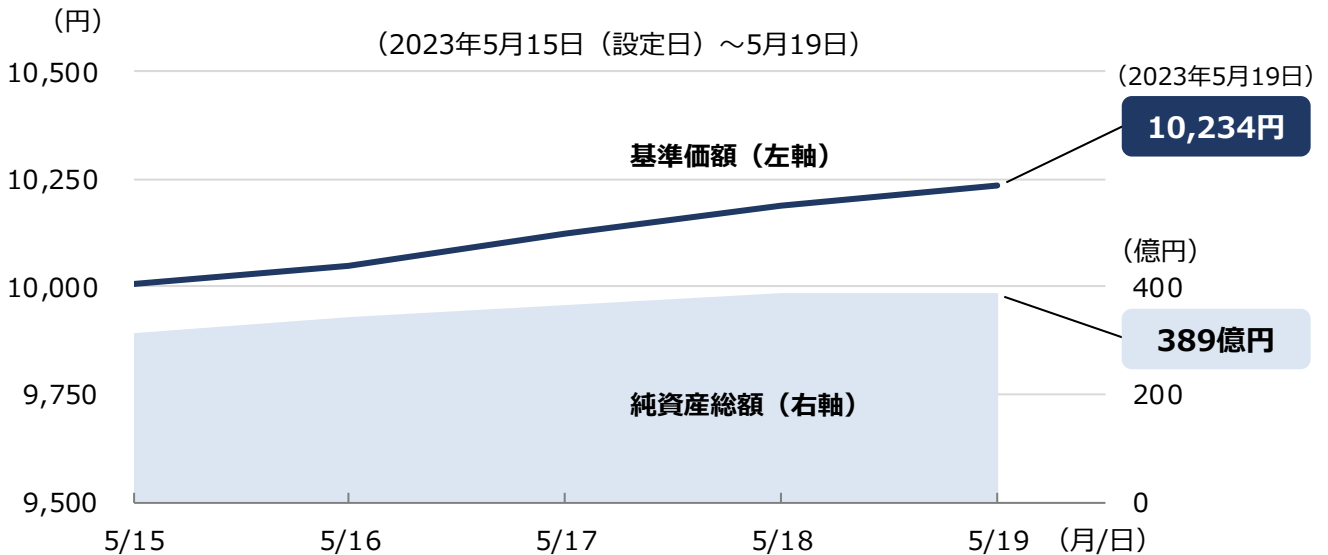
規模別構成比率（%）



特性値

	当ファンド	TOPIX
予想PER（倍）	28.2	13.8
PBR（倍）	5.3	1.3
ROE（%）	16.4	8.5

基準価額と純資産総額の推移



- (注1) 企業分類別構成比率のうち、IP保有はコンテンツIP保有企業、IP活用はコンテンツIP活用企業をいいます。分類は委託会社による分類。
 (注2) 規模別構成比率のうち、大型株はTOPIX100、中型株はTOPIX Mid400、小型株はTOPIX Smallの構成銘柄。その他は東証グロースまたは東証スタンダード上場銘柄。
 (注3) 構成比率は、当ファンドの純資産総額を100%として計算。四捨五入の関係上、構成比率の合計が100%にならない場合があります。
 (注4) 予想PER（株価収益率）、PBR（株価純資産倍率）、ROE（自己資本当期純利益率）は加重平均。当ファンドの特性値は現物資産総額を100%として計算。
 (注5) 予想PERはEPSが黒字の企業を基に算出。予想PERは2023年5月19日現在のBloomberg予想。
 (注6) 当ファンドの予想PER、PBR、ROEはBloombergで取得可能な銘柄を基に計算。
 (注7) TOPIXは当ファンドのベンチマークおよび参考指数ではありません。
 (注8) 基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後。
 (出所) Bloomberg

※上記は過去の実績および将来の予想であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

ファンドの特色

- 日本の取引所に上場（上場予定を含みます。）している株式の中から、主としてコンテンツ産業およびコンテンツの知的財産等に関連する企業の株式に投資します。
 - 知的財産および知的財産に関連する事業展開等に着眼し、成長性、バリュエーション等を勘案して組入銘柄を決定します。
- 設定来の1万口当たり分配金（税引前）累計額と、1万口当たり基準価額との合計額が12,500円以上となった場合には、安定運用に移行し、繰上償還します。
- ファンドの購入の申込みは、2023年5月17日までです。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

ファンドのリスクおよび留意点

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。
 - 価格変動リスク（株式市場リスク）、○ 信用リスク、○ 流動性リスク等があります。

ファンド固有の留意点

特定の業種・テーマへの集中投資に関する留意点

ファンドは、特定の業種・テーマに絞った銘柄選定を行いますので、市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なることがあります。また、市場環境、金利および経済・法制度・金融面の諸情勢が、特定の業種・テーマに対して著しい影響を及ぼすことがあります。当該業種・テーマに属する銘柄は、これらの情勢等に対して同様の反応を示すことがあります。

繰上償還に関する留意点

ファンドは、設定来の1万口当たり分配金（税引前）累計額と、1万口当たり基準価額との合計額が12,500円以上となった場合には、繰上償還に向けて安定運用に移行するために、順次、組入株式等の売却を行います。そのため、繰上償還までの間も株価変動、短期金融市場の動向、運用管理費用（信託報酬）等の影響を受け基準価額が変動しますので、当該合計額が12,500円を下回ることがあります。また、組入株式等の売却後は、株価が上昇しても基準価額は上昇しません。12,500円は繰上償還が決定する水準であり、設定来の1万口当たり分配金（税引前）累計額と、1万口当たりの基準価額もしくは償還価額との合計額が12,500円以上となることを示唆あるいは保証するものではありません。

※詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の投資リスクをご覧ください。

お申込みメモ（詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

換金申込受付日	原則として、いつでも換金のお申込みができます。
換金単位	<分配金受取りコース> 1万口以上1万口単位 <分配金再投資コース> 1万円以上1円単位 または 1口単位
換金価額	換金申込受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して4営業日目からお支払いします。
決算および分配	年1回（毎年12月28日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配方針に基づき分配金額を決定します。 <分配金受取りコース> 原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。 <分配金再投資コース> 原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。 再投資を停止し、分配金のお受取りを希望される場合はお申し出ください。 ※なお、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。
信託期間	2027年12月28日まで（2023年5月15日設定）
繰上償還	設定来の1万口当たり分配金（税引前）累計額と、1万口当たり基準価額との合計額が12,500円以上となった場合には、原則として、当該日の翌営業日から起算して1か月以内に繰上償還します。なお、繰上償還の条件を満たし安定運用に移行した場合であっても、満期償還日までの期間が短いときは、繰上償還を行わず満期償還日に償還することがあります。 また、以下の場合には、繰上償還をすることがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ● 繰上償還をすることが受益者のため有利であると認めるとき ● 残存口数が30億口を下回ることとなったとき ● その他やむを得ない事情が発生したとき

課税関係	<ul style="list-style-type: none"> ● 課税上は株式投資信託として取り扱われます。 ● 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」、未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA（ニーサ）」の適用対象です。 ● 配当控除の適用が可能です。益金不算入制度の適用はありません。 <p>※上記は作成基準日現在の情報をもとに記載しています。税法が改正された場合等には、変更される場合があります。</p>
------	--

ファンドの費用（詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。）

①投資者が直接的に負担する費用

換金手数料	ありません。
信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に 0.3% を乗じた額です。

②投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に 年1.133%（税抜き1.03%） の率を乗じた額
その他の費用・手数料	<p>以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 監査法人等に支払われるファンドの監査費用 ● 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料 ● 資産を外国で保管する場合の費用 等 <p>※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※換金単位については、S M B C日興証券が別に定める場合はこの限りではありません。

委託会社、その他の関係法人

【委託会社】三井住友DSアセットマネジメント株式会社（ファンドの運用の指図等を行います。）

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

【受託会社】株式会社S M B C信託銀行（ファンドの財産の保管および管理等を行います。）

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

重要な注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した、受益者の方に情報をお伝えする受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

作成基準日：2023年5月19日

